

## 生活環境部

### 人権啓発推進課

#### (1)人権啓発推進事業

人権思想の普及高揚を図り、市民に人権問題に関する正しい認識を広めることにより、基本的人権の擁護に資することを目的として実施した。

平成 21 年度人権啓発活動推進事業費県補助金 202,000 円

#### \*「人権を考える市民の集い」開催

日時:平成 21 年 10 月 2 日 19:00～20:30

会場:阿児アリーナ(ベイホール)

内容:トーク&コンサート(厚生労働省指定難病のクローン病を患いながらも夢をあきらめず、クローン病の認知活動のために演奏活動を行う女性と、そのパートナーによる体験談を語るコンサート)

講師:ユニットバンド「エスペランサ」奥田良子さん、奥田勝彦さん

演題:「夢をあきらめないで - 生きていくことって - 」

講師謝礼 250,000 円 (県補助額 125,000 円)

#### \*啓発物品配布

内容:人権啓発標語入り折りたたみバッグ(買い物バッグ) 882 個

作成代 155,223 円 (県補助額 77,000 円)

配布先:「人権を考える市民の集い」参加者、人権週間街頭啓発活動

#### \*「原爆パネル展」開催

展示期間:平成 21 年 7 月 29 日～8 月 6 日 展示場所:浜島生涯学習センター1階ホール

展示期間:平成 21 年 8 月 6 日～8 月 16 日 展示場所:阿児アリーナロビー

展示内容:「原爆と人間展」パネル、「非核平和宣言・都市宣言」パネル

#### \*「人権パネル展」開催

展示期間:平成 21 年 10 月 9 日～15 日 展示場所:阿児アリーナロビー

展示内容:「世界人権宣言を自分のものに」パネル、「人権フォトコンテスト」入賞作品写真(三重県人権センター借用)

(2) 人権啓発推進リーダー研修開催

各課職場において職場内研修の充実強化を図るため、人権啓発推進リーダー研修を実施した。

平成 21 年 5 月 18 日：人権啓発講演会聴講（講師：反差別・人権研究所みえ 松村智広さん）、平成 21 年 12 月 14 日：迫間地区内施設見学、フィールドワーク

(3) 補助金交付事業

志摩市人権施策基本方針に基づき、行政・各種団体・企業が連携を図り、人権啓発活動を行うための補助金を支出した。

平成 21 年度志摩市人権啓発推進ネットワーク協議会補助金 600,000 円

(4) 非核・平和啓発事業

2009 年原水爆禁止国民平和大行進宣伝行動による志摩市訪問(6 月 10 日)

「核兵器のない世界を」国際署名に賛同

原爆展開催：平成 21 年 7 月 29 日～8 月 16 日

開催場所：浜島生涯学習センター1階、阿児アリーナロビー

(5) 人権相談

人権擁護委員による「特設人権相談所」開設（伊勢人権擁護委員協議会主催）

偶数月(4 月、6 月、8 月、10 月、12 月、2 月)年 6 回開設

開設場所：阿児アリーナ、磯部生涯学習センター、志摩文化会館

(6) 福祉資金償還事務

平成 21 年度実績

資金種別	生業資金	住宅資金	生活資金	合計
調定件数	6 件	3 件	1 件	10 件
調定額(A)	3,883,629 円	2,304,078 円	138,310 円	6,326,017 円
収入額(B)	126,500 円	30,585 円	0 円	157,085 円
償還率(B/A)	3.26%	1.33%	0.00%	2.48%
未償還額(A-B)	3,757,129 円	2,273,493 円	138,310 円	6,168,932 円

## 人権啓発推進課 迫間文化会館

### (1)隣保館運営審議会の開催

地域の実態と課題に対応して機動的な事業の展開を図るため、年間事業、施設の利用状況等の運営について審議した。

開催月日...(3月8日)

### (2)啓発及び広報活動事業

対象地域住民に対して、同和問題をはじめとするあらゆる人権に関する啓発を行うとともに、近隣地域住民に対する啓発として次の事業を実施した。

・「文化会館たより」の発行(4月～3月まで月1回発行、計12回発行)

発行部数:260部

配布対象:地区内全世帯、関係機関

・地域指導者県外研修会(9月5日)

内容:大阪市生野区コリアタウン研修及びフィールドワーク

車中人権啓発ビデオ研修

参加者:24名(使用料及び賃借料148,340円、報償費20,000円)

・原爆パネル展(8月3日～8月7日)

「原爆」パネル展示 20枚 原子爆弾レプリカ模型

展示場所:迫間文化会館

・人権パネル展(12月9日～12月17日)

「障がい者の人権問題」5枚 「高齢者の人権問題」5枚

展示場所:迫間文化会館

・人権同和問題講座(7月24日)

内容:「今、子育てで大切にしたいことは...」

講師:反差別・人権研究所みえ 主任研究員 松村智広さん(報償費40,000円)

参加者:27人

・人権啓発物品配布(10月18日)

迫間区民文化祭会場で啓発活動として、啓発物品350個配布

物品名:ウェットティッシュ(啓発標語入り)

- ・人権学習会協力(随時会場貸出、説明等)
  - 磯部小学校 4 年生担任団人権学習打ち合わせ(6 月 4 日)
  - 磯部小学校 4 年生人権学習(6 月 11 日)
  - 畔名小学校教員人権研修会(7 月 30 日)
  - 宿田曾小学校人権研修会打ち合わせ(8 月 6 日)
  - 宿田曾小学校教員人権研修会(8 月 28 日)
  - 三重県人権大学講座フィールドワーク研修(9 月 1 日)
  - 人権を考える市民の集い打ち合わせ(9 月 29 日)
  - 人権を考える市民の集い協力(10 月 2 日)
  - 磯部小学校 3 年生人権学習会(11 月 2 日)
  - 磯部中学校 3 年生担任団フィールドワーク事前学習(11 月 9 日)
  - 磯部中学校 3 年生フィールドワーク研修(11 月 12 日)
  - 磯部小学校 3 年生校区探検(11 月 17 日)
  - 市職員リーダー研修フィールドワーク(12 月 14 日)
  - 磯部小学校 6 年生出会学習(2 月 26 日)
  - 甲賀市企業人権啓発推進協議会視察研修(3 月 3 日)

### (3) 地域交流支援事業

地域住民に対して積極的な交流を図るため、クラブ活動をはじめ次の教養・文化活動を実施した。

- ・華道教室(5 月～2 月まで年 6 回開催)
  - 講師:谷 てる子さん(未生流) (報償費 5,000 円×6 回 = 30,000 円)
  - 受講者:6 名
  
- ・料理教室
  - 内容:ケーキ作り教室(12 月 24 日)
  - 参加者:11 名
  - 講師:豆原さやかさん(報償費 5,000 円)
  
- ・作品展(10 月 17 日～18 日)
  - 内容:生花・陶芸・健康相談参加者作品
  - 場所:迫間文化会館

・迫間区民文化祭(解放文化祭)(10月18日)

内容:各種ゲーム、保育所及び幼稚園児演芸、磯部太鼓の発表、踊り、カラオケ大会、模擬店、抽選会

来場者:約400名(使用料及び賃借料89,250円)

#### (4)隣保館デイサービス事業

高齢者を中心に、隣保館を利用して創作活動、軽作業及び日常生活訓練等を行うことにより、その自立を助長し生きがいを高めることを目的として次の事業を実施した。

・健康体操(4月～3月まで開催回数35回)

内容:健康体操・生活相談

参加者:延べ212人

・健康相談(4月～3月まで月1回開催 計12回開催)

内容:健康体操、生活相談、血圧測定、尿検査、身長、体重、体脂肪測定、レクリエーション・ふれあい昼食

レクリエーション講師2名(報償費10,000円)

相談員:准看護師 吉田淳子さん(報償費5,900円×12回=70,800円)

協力員:ボランティアスタッフ延べ30名(昼食準備)

参加者:延べ137人

・創作活動

陶芸教室(4月～3月まで開催回数 年11回)

<作陶> 実施回数 11回(自由作品)

<素焼> 実施回数 6回 <本焼> 実施回数 7回

参加者:延べ64名

・介護技術指導(9月15日)

内容:介護予防について(介護保険の手続き、認知症予防、軽体操等)

講師:社会福祉協議会磯部支所職員2名

参加者:34名

#### (5)相談事業

地域住民が抱える生活課題に対応するため、次の相談活動を実施した。

・生活相談(随時館職員対応)

主な相談内容:生活環境・住宅・就労雇用・行政手続・人権問題・医療・税務・年金・  
自治会・生活保護・パソコン等

相談者:延べ 107 名(月別の相談者数は、施設利用状況参照)

(6)職員研修

館職員の資質向上を図るため、次の研修会に参加した。

- ・第 46 回全国隣保館長研修会 大阪市(10月28日・29日)
- ・第 46 回全国隣保館職員(東日本ブロック)研修会 津市(12月26日・27日)
- ・第 61 回全国人権・同和教育研究大会 津市(11月28日・29日)
- ・平成 21 年度隣保館職員研修会 津市(1月19日)

(7)施設利用状況

月	来館者数(延べ)	相談者数(延べ)	貸館(延べ)
4月	389名	19名	7回
5月	194名	15名	6回
6月	284名	8名	8回
7月	357名	10名	8回
8月	186名	10名	9回
9月	443名	10名	11回
10月	548名	3名	15回
11月	402名	6名	10回
12月	386名	3名	9回
1月	215名	7名	5回
2月	225名	4名	10回
3月	358名	12名	7回
合計	3,987名	107名	105回

(8)備品購入

館活動においての機能向上を図るため、以下の物品を購入した。

[人権関係図書購入名](9,765円)

天皇制と部落差別、人権反射鏡、ホルモン奉行、新しい介護学生生活づくりの排泄ケア、  
HOW TO 生活保護 全5冊

(9) 関係機関との連携

・迫間児童館教育集会所との連携

運営委員会、人権学習会、同和教育推進会議、関係諸機関連絡会議、人権学習発表会へ参加協力し、人権・同和教育の推進を図った。

・三重県隣保館連絡協議会の一員として関係する諸活動に参加した。

・公民館迫間分館活動への諸事業に対する協力を行った。

## 環境課

### 1. 環境保全係

(1) 環境保全対策の調査研究及び啓発に関すること。

市ホームページや広報を活用して、浄化槽の普及をはじめ、国及び県、市が発信する環境に関する情報等の提供を行った。また、「こどもエコクラブ」への登録者を募り、家庭や地域の中で身近にできる環境活動や環境学習に対する支援を行い、さまざまな団体や関係機関、地域とパートナーシップを組んで子どもたちの活動を支援した。

こどもエコクラブ登録数：10クラブ、230人(メンバー)、83人(サポーター)

(2) 公害防止に係る対策及び指導並びに公害に係る苦情又は紛争の処理に関する  
こと。

野焼き、悪臭、騒音等に関する苦情に際し、現地確認及び関係部局との連絡調整を行うことをはじめ、必要に応じて原因者への調査指導を実施し啓発に取り組んだ。

大気汚染	水質汚濁	悪臭	騒音・振動	その他	合計
49件	24件	11件	4件	38件	126件

(3) 一般廃棄物収集運搬業(し尿に係るものに限る。)及び浄化槽清掃業の許可に関する  
こと。

許可、更新並びに適正業務推進のため、連絡調整および指導を行った。

(4) 環境保全対策の推進に関すること。

英虞湾自然再生協議会

自然再生推進法及び市総合計画の環境保全に関する施策に謳われていることから、平成20年3月に「英虞湾自然再生協議会」が設立された。産・官・学・民が参画し、英虞湾の自然環境及び自然再生に関する施策を総合的に推進し、過去に損なわれた生態系やその他の自然環境を取り戻しつつ、現在の社会と調和した「新しい里うみ」の創生をめざして議論の場として協議会を開催し、意見交換を行った。産業振興部・生活環境部・教育委員会・上下水道部・建設部の関係8課長が行政委員となっている。

自然再生協議会ホームページ更新委託料：202,020円

(5) 生活排水対策の推進に関すること。

生活排水処理基本計画及び循環型社会形成推進地域計画の推進に努めた。

(6) 汚水処理施設設置基準に関すること。

汚水処理計画書、水質報告書等届出の受付及び条例に基づく確認を行った。

(7) 「新しい里海」づくりの推進に関すること

21世紀環境立国戦略をはじめ海洋基本計画等において「里海」の創生が国の施策として明記されており、海の環境を保つためには、陸域を含めた沿岸域の総合的な管理や物質循環のバランスを保つことが必要とされている。

海の環境を保全しつつ、その恵みを最大限かつ持続的に活用する「新しい里海」づくりを推進するため、里海創生支援モデル事業(海岸生物の調査体制の構築)や海の健康診断事業(英虞湾の詳細な現状の把握と対処方法の確立)において、「英虞湾モデル」の確立をめざした取り組みを実施した。(2ヵ年事業、H22まで継続実施)

今後、「新しい里海」の創生に向けて、“総合的な沿岸管理の推進”が重要なキーワードとなることから、全庁体制で取り組んでいく必要があるため「里海創生プロジェクトチーム」の設置に向けて、関係課と協議を開始した。

・里海創生支援モデル事業(環境省委託)：900,000円

・「海の健康診断」事業(海洋政策研究財団と共同研究)：1,850,000円(1/2負担)

(8) 水質調査に関すること。

市内の河川、排水路及び海域について水質及び底質環境を継続的に把握し、

各種環境施策の基礎資料とするため、市全域で旧5町に分け年2回、河川51地点、海域等18地点の公共用水域の水質調査業務を委託した。

水質検査業務委託料：2,072,700円(環境課分 1,638,000円、水産課分 434,700円)

(9)浄化槽の普及及び管理指導に関すること。

建物用途別水質許容限度に係る窓口相談・指導、法定検査(浄化槽法第7条及び第11条)受検率の向上を目指し、県水質保全協会と連携を図り、受検対象地区へのチラシの配布並びに広報等により法定検査実施の啓発を行った。

また、前々年度(平成19年度)の浄化槽設置補助交付者を対象に、維持管理(法定検査・保守点検・清掃業務)状況に関する追跡調査を実施した。

(10)浄化槽の設置及び廃止届出書の進達事務に関すること。

- ・設置届出数：118件 都市計画区域以外(建築確認申請不要の場合)
- ・調書数：85件 都市計画区域内(建築確認申請を伴う場合)
- ・廃止届出数：27件

(11)浄化槽設置整備事業に関すること。

生活排水対策及び公共用水域の水質汚濁を防止するため、下水道及び下水道類似施設の処理区域以外の区域において、居住を目的とした住宅又は小規模店舗を併設した住宅に家庭用合併処理浄化槽を設置する者を対象に補助金の交付を行った。

補助金の割合：国(1/3)、県(1/3)、市(1/3)

浄化槽	通常型		高度処理型		合計	
	基数	交付額(円)	基数	交付額(円)	基数	交付額(円)
5人槽	12基	3,984,000	89基	39,516,000	101基	43,500,000
7人槽	3基	1,242,000	71基	34,506,000	74基	35,748,000
10人槽	0基	0	3基	1,728,000	3基	1,728,000
合計	15基	5,226,000	163基	75,750,000	178基	80,976,000

(12)鳥羽志勢広域連合に関すること。

し尿処理状況等についての連絡調整を図った。

(13) 公害に関する法律に基づく届出並びに三重県生活環境の保全に関する条例に基づく届出に関する進達及び受付に関すること。

(進達事務)

- ・水質汚濁防止法関係：26件
- ・大気汚染防止法関係：16件
- ・特定工場における公害防止組織の整備に関する法律関係：2件
- ・ダイオキシン類対策特別措置法関係：1件
- ・三重県生活環境の保全に関する条例関係：10件

(受付事務)

- ・騒音・振動関係【設置変更分】：21件
- ・騒音・振動関係【建設作業の届出】：7件

## 2. 環境政策係

(1) 環境基本計画・一般廃棄物処理基本計画(生活排水)等の環境政策の総合企画に関すること

計画策定のための調査、研究、関係部局との調整を行った。

(2) 地球温暖化防止施策の企画及び推進に関すること。

志摩市地球温暖化対策実行計画(H19策定)に基づき、温暖化対策推進のため調査、研究、関係部局との調整を図り、CO<sub>2</sub>排出量の把握調査等を行った。

また、改正エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)の施行に伴い、各部署に周知するとともに、平成21年度エネルギー使用量の把握準備を行った。

(3) 下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法に関すること。

合理化事業計画の推進のため、一般廃棄物(し尿)収集運搬業及び浄化槽清掃許可業者との意見交換及び情報交換会を3回開催し、相互における事業計画の理解に努めた。

(4) 自然と環境の保全に関する条例に関すること。

条例の施行に関する総合調整を行った。

(条例に基づく届出)

自然と環境の保全に関する届出：5件

(5) 環境監視員に関すること。

自然環境の保全のため、志摩市の自然と環境の保全に関する条例及び同条例施行規則の規定に基づき18名の環境監視員を設置し、各担当区域を毎月定期的に1回以上巡回し、その報告を求めるとともに、不法投棄等の防止活動を行い地域の環境保全に努めた。また、自転車等監視員を交えた連絡会議を年2回開催し、意見交換および情報共有を図った。

環境監視員報酬：2,160,000円

監視員からの報告件数：789件

(6) 放置自転車等の発生の防止及び適正な処理に関すること。

放置自転車等の保管・処分、自転車等監視員との連絡調整を行った。

自転車等監視員2名を配置し、市内の各鉄道駅周辺を中心に放置自転車等の巡視を行い、必要に応じ警告・撤去を行い、放置自転車の発生抑止に努めた。

自転車等監視員報酬：240,000円

放置自転車 撤去台数：28台、処分台数：36台(手数料 18,000円)

## 美化衛生課

### 生活衛生係

#### 1. 畜犬登録

狂犬病予防法に基づき、飼い犬の登録及び狂犬病予防注射を実施した。

	頭数 (うち集合注射)	手数料
畜犬登録	263匹	789,000円
狂犬病予防注射	2,697匹 (1,103匹)	1,483,350円

#### 2. 犬猫不妊手術助成

野良犬、野良猫の原因となっている捨て犬、捨て猫を防止するため、犬及び猫の去勢手術、不妊手術に要した費用の一部を助成した。

	オス	メス	助成額
犬	15匹	44匹	257,500円
猫	79匹	129匹	842,500円
合計	94匹	173匹	1,100,000円

### 3. 防疫(消毒)活動

延べ14地区へ家屋消毒の煙霧機38台を貸し出し、生活衛生の向上に努めた。

### 4. 火葬業務

斎場あご及び浜島やすらぎ苑を運営し、人生終焉の場として厳かに、また、故人が安らかに眠られるよう火葬業務を行った。

	斎場あご		浜島やすらぎ苑		計	使用料
	市内	市外	市内	市外		
人	600	20	90	1	711	14,560,000円
胞衣汚物等	8	0	0	0	8	40,000円
改葬	2	0	0	0	2	10,000円
ペット			102	3	105	540,000円
霊安室	2	1			3	8,000円
計	612	21	192	4	829	15,158,000円

### 5. 墓地管理

改葬許可申請 60件

市有墓地の管理移管

平成21年4月1日(一部、平成21年5月1日)付けにて各地域の墓地管理委員会等と協定を締結し、管理及び運営の移管を完了した。ただし、移行期間として、3ヶ月分の維持管理費を市が負担した。

#### 清掃事業係

#### 1. 一般廃棄物収集運搬業(し尿に係るものを除く)許可

	新規	更新	変更	手数料
一般廃棄物収集運搬業許可	1件	7件	0件	26,000円
一般廃棄物処分業許可	1件	2件	1件	14,000円
計	2件	9件	1件	40,000円

#### 2. 志摩市ごみ収集カレンダー作成

ごみ分別収集の徹底と適正排出意識の高揚を図るため、各地域別にごみ収集カレンダーを作成した。

地区	浜島地区	大王地区	志摩地区	阿児地区	磯部地区	合計
作成部数	2,200部	3,300部	5,300部	9,000部	3,600部	23,400部
作成費	2,457,000円					

受注者 志摩市志摩町片田3563番地1 モリワキ印刷

### 3. 志摩市指定ごみ袋購入

ごみ減量化を目的とし、ごみ分別の意識高揚と排出方法の統一を図るため指定ごみ袋を作製購入した。

購入数量

(単位:枚)

	10 (枚)		20 (枚)		40 (枚)	
	第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	第2回
もやせるごみ	312,000	0	717,000	0	745,000	30,000
もやせないごみ	27,000	44,000	25,000	72,000	10,000	47,000
資源ごみ(A)	63,000	29,000	106,000	67,000	82,000	109,000
資源ごみ(B)	16,000	25,000	28,000	12,000	32,000	0
固形ごみ	68,000	20,000	65,000	0	60,000	0
			第1回総数		2,356,000	
			第2回総数		455,000	
			総数		2,811,000	

第1回 購入費 12,493,393円

受注者 愛知県海部郡蟹江町本町片掘20番地1 佐藤化学工業(株)

第2回 購入費 3,019,327円

受注者 桑名市宮町62番地 (株)岸野屋

### 4. 鳥羽志勢広域連合ごみ処理関係分担金

ごみ処理施設建設関係分担金 71,281,000円

資源ごみ処理施設費分担金 15,196,000円

### 5. 志摩市リサイクル事業

再資源化物の回収事業を行う市内の営利を目的としない団体に対しリサイクル事業奨励金を交付することにより、廃棄物の減量化を促進し、資源の再生化を図った。

奨励金交付金額 1,521,240円

奨励金交付件数 58件

再資源化物重量 311トン

#### 6. 志摩市生ごみ減量化対策事業

増え続けるごみの減量化を推進するため、ごみの減量化を目的とした家庭用電気式生ごみ処理機の購入費用の一部を助成した。

助成金交付金額 1,483,400円

助成金交付件数 53件

#### 7. 廃棄物減量等推進審議会の開催

一般廃棄物の減量等に関し広く意見を聴くため、廃棄物減量等推進審議会を1回開催した。

### エコフレンドリーはまじま

#### (1) 施設の状況

RDF施設エコフレンドリーはまじま(平成14年12月竣工)

志摩市浜島町塩屋 621 番地 20

最大処理能力 12t/日

浜島一般廃棄物最終処分場(昭和62年12月竣工)

志摩市浜島町迫子 752 番地

埋立面積 10,010 m<sup>2</sup>

全体容量 46,500 m<sup>3</sup>

#### (2) 職員の配置状況(平成21年4月1日現在)

エコフレンドリーはまじま 14名(職員10名 臨時職員4名)

事務部門:3名 収集部門:2名 RDF運転:6名 資源分別:3名

最終処分場 1名(臨時職員)

計 15名(職員11名 臨時職員4名)

#### (3) 収集運搬等の状況

町内には、109箇所のごみ集積所があり、固形ごみは週3回、固形できないごみは月2回、資源ごみは月4回、直営で収集している。

なお、各部門別のごみ排出量は次のとおりである。

平成21年度 ごみ排出量 (単位:t)

	収 集	持ち込み	処理残渣	合 計
固形ごみ	876	415		1,291
固形できないごみ	131	167	13	311
資源ごみ	283	77		360
計	1,290	659	13	1,962

(4)平成21年度 最終処分量 (単位:t)

埋立処分	311
------	-----

(5)平成21年度 資源回収の内訳 (単位:t)

紙 類	241	ビン類	47
スチール缶	10	その他プラスチック	31
アルミ缶	4	白色トレイ	2
ペットボトル	12	発泡スチロール	6

(6)平成21年度 収集及びごみ処理施設稼働日数 (単位:日)

	固形ごみ	固形できないごみ	資源ごみ
収 集 日	144	24	48
RDF稼働日	95		
不燃物処理		242	

(7)平成21年度 一般廃棄物処理手数料

持ち込み分	684,920 円
指定ごみ袋分	11,131,250 円
計	11,816,170 円

## 大王清掃センター

(1)施設の状況 志摩市大王町波切 2321 番地

焼却施設

焼却施設併設 昭和56年3月竣工

焼却炉改良 平成 6年3月竣工

焼却炉改造 平成14年6月完成  
能 力 20t / 8h (10t / 8h × 2 炉)  
焼却炉休止 平成21年3月31日休止

#### 埋立処分地(最終処分場)

適正閉鎖区域 埋立期間:昭和42年4月~平成18年3月(閉鎖)  
埋立容量:110,000 m<sup>3</sup> 埋立廃棄物:不燃物  
新設区域 埋立期間:平成18年3月~平成31年度(予定)  
埋立容量:33,100 m<sup>3</sup> 埋立廃棄物:不燃物

#### 浸出液処理設備

処理能力:29 m<sup>3</sup> / 日 適正閉鎖区域:9 m<sup>3</sup> / 日 新設区域:20 m<sup>3</sup> / 日  
水 処 理 方 式:生物処理 凝集膜処理 活性炭吸着処理  
キレート吸着処理 紫外線滅菌処理

#### (2) 職員の配置状況(平成21年4月1日現在)

清掃センター 11名(職員6名・臨時職員5名)  
事務部門 2名  
廃棄物処理部門 9名(収集運搬・浸出液処理設備管理・埋立処理等)

#### (3) 収集運搬等の状況

##### 可燃ごみ

収集の形態 :直営  
収集の頻度 :週2回(休日は次回)  
収集の方式 :集積所方式  
容器方式 :なし  
住民の排出時間:午前8時まで

##### 不燃ごみ

収集の形態 :直営  
収集の頻度 :週1回(休日は次回)  
収集の方式 :集積所方式  
容器方式 :なし(廃乾電池容器設置)  
住民の排出時間:午前8時まで

## 資源ごみ

収集の形態 : 直営  
 収集の頻度 : 週1回(休日は次回)  
 収集の方式 : 集積所方式  
 容器方式 : なし  
 住民の排出時間: 午前 8 時まで

### (4) 廃棄物搬入量(H21 年度実績)

収 集 分 可燃物:1,375t、不燃物:174t、資源物:431t  
 直接搬入分 可燃物: 4t、不燃物:102t、資源物: 78t  
 計 可燃物:1,379t、不燃物:276t、資源物:509t  
 そ の 他 有害物:2t(廃乾電池、蛍光灯等)  
 合 計 2,166t

### (5) 主な資源物回収実績

缶 類 : アルミ缶 5t、スチール缶 15t  
 古 鉄 : 29t  
 ビン類 : 生ビン 5t、無色 23t、茶色 30t、他色 14t  
 ペットボトル : 18t  
 トレイ : 5t  
 その他プラ : 47t  
 紙 類 : 287t

### (6) 施設の稼働状況(4月～3月)

区 分	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ
収集日数	194 日	101 日	93 日

焼却処理(休止中)			埋立処分	
炉 番 号	稼働日数	残 渣 量	種 類	数 量
1 号 炉	-	-	不 燃 物	343t
2 号 炉	-	-	焼却残渣	-
計	-	-	計	343t

(7)集積所数(平成22年3月31日現在)

船越:10箇所 波切A:20箇所 波切B:25箇所  
畔名:10箇所 名田:8箇所 計73箇所

(8)収集日程

月曜・木曜 波切B地区・名田・畔名  
火曜・金曜 波切A地区・船越

(9)手数料

持ち込み分	762,160円
指定ごみ袋分	11,488,000円
特定家庭用機器運搬手数料	72,900円

## 志摩清掃センター

### 1.施設の状況

一般廃棄物焼却施設:志摩市志摩町和具 2690 - 3

焼却炉型式 NS-3型 機械化バッチ燃焼式焼却炉  
焼却能力 15t/8h 2基 (平成11年3月竣工)

粗大ごみ処理施設:志摩市志摩町和具 2690 - 3

型式 たて型シュレッダー  
処理能力 20t/5h (4t/1h) (昭和63年2月竣工)

一般廃棄物最終処分場:志摩市志摩町御座 1225

埋立地	総面積	35,891m <sup>2</sup>
埋立面積	18,000m <sup>2</sup>	
埋立容積	111,000m <sup>3</sup>	
処理方式	セル方式	

浸出水処理施設:処理方式 凝集沈殿法によるカルシウム除去  
処理能力 70m<sup>3</sup>/日

### 2.職員の配置状況(平成21年4月1日現在)

清掃センター : 14名(職員12名・臨時職員2名)

事務部門 3名(所長(兼務)・課長補佐・臨時職員)  
 廃棄物処理業務 10名

一般廃棄物最終処分場 : 受付業務等 1名(臨時職員)

### 3. 収集運搬等の状況

収集運搬については民間業者委託

集積所の数 76箇所

収集回数 可燃ごみ 週2回 不燃ごみ 週1回

資源ごみ アルミ缶・ペットボトル・紙類 月2回

金物・瓶・陶器・ 月1回 その他プラスチック類 月2回

発泡スチロール・トレイ 週1回

乾電池類 随時回収(集積所に回収箱設置)

廃棄物排出量(清掃センター)

( 単位:t )

種別 \ 方法	委託収集	持ち込み	大王清掃センター搬入分	合計	備考
可燃ごみ	2,159	1,971	1,500	5,630	
不燃ごみ	404	210	0	614	
粗大物	1	78	0	79	
資源物	304	26	0	330	
その他のごみ	0	0	0	0	
合計	2,868	2,285	1,500	6,653	

#### \* 資源物の内訳(委託収集)

紙類 267t

ペットボトル 18t

アルミ缶 7t

トレイ 8t

#### \* 資源物の搬出

紙類 364t

ペットボトル 25t

アルミ缶 17t

トレイ(溶融) 4t

鉄類 146t

その他プラ 25t

#### 4. 最終処分場の状況

( 単位 : t )

持ち込み	焼却残渣	破碎残渣	その他	合計
241	1,051	365	0	1,657

#### 5. 廃棄物処理施設の稼働状況

清掃センター (焼却施設・粗大ごみ処理施設・最終処分場) 295日

#### 6. 一般廃棄物処理手数料

持ち込み手数料 9,171,310円

(清掃センター 8,717,250円 最終処分場 454,060円)

指定袋販売手数料 15,311,650円

特定家庭用機器運搬手数料 118,200円

### 阿児清掃センター

#### (1) 施設の状況

一般廃棄物焼却施設:志摩市阿児町鷓方 477 番地 17,477 番地 62

第1施設 25t / 8h 炉 1基 (平成6年度竣工)

第2施設 20t / 8h 炉 (10t 炉 2基・昭和57年度竣工)

一般廃棄物最終処分場:志摩市阿児町鷓方 2637 番地 77

埋立開始 昭和59年4月 総面積 23,400 m<sup>2</sup>

埋立面積 12,700 m<sup>2</sup>

全体容量 82,500 m<sup>3</sup>

不燃物処理施設 10t / 5h (昭和59年度竣工)

#### (2) 職員の配置状況 (平成21年4月1日現在)

清掃センター:18名 (職員13名・臨時職員5名)

事務部門:3名、収集部門:9名、焼却部門:6名

最終処分場:6名 (職員4名・臨時職員2名)

事務部門:1名、不燃物処理:4名、埋立・水処理部門:1名

計24名 (職員17名・臨時職員7名)

(3) 収集運搬等の状況

収集運搬については、可燃ごみは町内280箇所の集積所を週4回、不燃ごみは委託で月4回、資源ごみ(紙類)は直営で月4回、また、ペットボトル・トレイ・発泡スチロール、廃乾電池・蛍光管は各地区拠点集積所へ出された物を随時収集運搬している。各部門別のごみ排出量等は、次のとおりである。

平成21年度 ごみ排出量 (単位:t)

	収集	持ち込み	その他	焼却灰	合計
可燃ごみ	3,387	4,518	287	-	8,192
不燃ごみ	370	359	471	1,251	2,451
資源	559	47	-	-	606
計	4,316	4,924	758	1,251	11,249

\* 資源の内訳

紙類	553t
ペットボトル	40t
トレイ等	13t

(4) 平成21年度 最終処分内訳 (単位:t)

埋立	資源回収	家電リサイクル	計
2,258	799	7	3,064

\* 資源回収の内訳

アルミ 17t ・ 鉄類 176t ・ 紙類 553t ・ ペットボトル 40t ・ トレイ等 13t

(5) 平成21年度 ごみ処理施設の稼働状況

	可燃ごみ	不燃ごみ	資源
収集(日)	196	48	95
平均(t)	17.3	7.7	6.4
焼却(日)	261	-	-
不燃処理(日)	-	296	-
平均(t)	31.4	-	-

(6)平成21年度 一般廃棄物処理手数料収入の状況

持込手数料 : 24,558,270 円

指定袋販売手数料 : 39,840,450 円

## 磯部清掃センター

(1) 施設の状況

磯部清掃センター(昭和58年3月15日竣工)

・一般廃棄物焼却施設:志摩市磯部町山原680-8

処理能力 16t/日(8t/8h×2炉)

排ガス高度処理・灰固化施設整備 平成14年11月竣工

磯部一般廃棄物処分場(昭和61年3月埋立開始)

・一般廃棄物最終処分場:志摩市磯部町山原675-2外

総面積 35,000㎡ 埋立面積 15,400㎡

埋立容量 24,800㎥

平成9年2月拡張工事 埋立容量 50,900㎥

(2) 職員の配置状況(平成21年4月1日現在)

・清掃センター(収集運搬、焼却施設、中間処理、最終処分場兼務)

11名(職員7名、臨時職員4名)

内訳:事務部門 3名、収集部門 6名、焼却部門 2名

(3) 収集運搬等の状況(渡鹿野地区除く)

収集運搬については、町内252ヶ所の集積所を可燃ごみは委託で1地区週2回、不燃ごみは直営で1地区月1回、資源ごみは直営で1地区月7回実施している。

種類別のごみ排出量は、次のとおりである。

平成21年度(4月1日～3月31日まで)のごみ排出量「渡鹿野含む」 (単位:t)

ごみの種類	収集量	持込量	その他(不法投棄含む)	焼却灰	合計
可燃ごみ	1,327	793	0	0	2,120
不燃ごみ	121	549	1	336	1,007
資源ごみ	465	109	3	0	577
計	1,913	1,451	4	336	3,704

資源ごみ内訳：粗大金属、缶類、ビン類、ペットボトル、白色トレイ、その他プラスチック類、紙類、衣類

(4) 最終処分の状況

・最終処分場埋立量(4月1日～3月31日) 1,007t

(5) 資源回収の内訳

(単位:t)

紙類	333	その他プラスチック	36
スチール缶	23	白色トレイ	2
アルミ缶	11	発泡スチロール	5
ペットボトル	19	衣類	15
ビン類	66	粗大・金属	38

(6) 施設稼働の状況

・平成21年度(4月1日～3月31日)

(単位:日)

	可燃ごみ		不燃ごみ		資源ごみ	
	一般地区	渡鹿野地区	一般地区	渡鹿野地区	一般地区	渡鹿野地区
収集日数	194	280	24	55	168	280
不燃物受入日数			295			
焼却日数	204		-		-	

(7) 一般廃棄物処理手数料の状況

・持込手数料 5,224,580円  
 ・指定袋販売手数料 12,993,750円  
 ・アルミ缶等売却手数料 4,737,415円  
 ・特定家庭用機器運搬手数料 33,400円  
 計 22,989,145円